

いつまでもお元気で!

9月13日、市内の最高齢と白寿の方を市長・議長・社会福祉協議会会長が訪問し、長寿を祝いました。志布志市では、9月1日現在、65歳以上の方が1万220人生活されています。これは、総人口の30・48パーセントにあたり、100歳以上の方は36人いらっしゃいます。市の最高齢者は、志布志町の特別養護老人ホーム賀寿園の松山ハルさんで、明治38年生まれ、今年で108歳になられます。市の発展の基礎を創られた高齢者の皆様には、深い感謝の気持ちをお伝えするとともに、ますますお元気で長生きをさせていただきたいと思えます。



白寿を迎えた古澤ユキエさん。皆さんますますお元気で!



一人ひとりの取り組みが、まちをきれいに

道路愛護で知事表彰!

8月26日、志布志町志布志の坂元俊幸さん、坂元静香さんご夫妻が、道路愛護に顕著な功績があった個人として鹿児島県知事から表彰され、その伝達式が行われました。表彰された坂元さんご夫妻は、平成17年から道路愛護活動を行って、合併後は「マイロードクリーン大作戦」(自分で決めた道路区間の清掃活動等を行い、自宅周辺をきれいにする)で、市全体がきれいになるといふ制度)に自主的に参加、8年間2日に1回ペース(年間180回)で自宅周辺の道路清掃を行い、地域の道路愛護及び環境美化に大きく貢献されました。

南日本書道展で優秀賞を受賞

生涯学習講座「優しい習字」の講師をされている水元麻未さんが、第63回南日本書道展で優秀賞を受賞され、9月20日、指導者の永山南糖さんとともにその報告に市役所を訪れました。鹿児島県は全国でも書道が盛んな地域で、今回も368点の応募があり、20代での優秀賞の受賞は快挙となりました。水元さんは本格的に書道に打ち込んで5年。仕事が忙しく、なかなか毎日練習する時間がとれないとのことですが、仕事の合間をみて稽古に励まれたそうです。「今後もしっかりと稽古をして、入選を続けられるようになりたい」と今後の抱負を話されました。



これからも稽古に励み、頑張ってください!



これからもきれいな景観づくりに努めます!

コスモスの種をまきました!

9月14日、泰野水土里サークルのものそ会(本村次安会長)が、農村景観活動の一環として、地域に住む15人で泰野公民館付近の水田・畑にコスモスの種まきを行いました。同会では、平成20年から泰野の水田約5ヘクタールに菜の花や彼岸花の植栽、22年からはレンゲやコスモスの種まきに取り組み、様々な行事を通して、活気ある、明るいふるさとづくりに努めています。種まきに参加した方々は「コスモスが咲くとふるさとが明るくなり、活気が出ます。きれいな景観を皆さんに楽しんでもらいたい」と開花を楽しみにしていました。

最後の体育大会が田之浦中と出水中で盛大に開催!

9月15日、田之浦中学校と出水中学校で、地域の方々や保護者、卒業生を交えて最後の体育大会が盛大に開催されました。田之浦中学校では「体育大会 THE FINAL」と銘打ち、生徒や各小学校区ごとの地域の皆さんによる入場行進が行われました。また、今年選出された卒業生26人も、お揃いの赤いTシャツで入場行進に参加、選手宣誓では「田之浦中、ありがとう」と声を揃えました。一方、出水中学校も「出水魂」最高の仲間とともに「つながる絆」なぐ未来へ」という大会スローガンのもと盛大に開催されました。特



生徒たちを囲むように、地域の方々や卒業生も参加!



在校当時の思い出がよみがえります



生徒たちも最後まで頑張りました

に地域に伝わる郷土芸能「棒踊り」と「てべし」は、上下に大きく体を動かす踊りで力強く、勇壮なもので、後半は地域の皆さんや保護者、卒業生なども輪に加わり、約1時間続いた熱演に花を添えました。両校とも最後の体育大会らしく完全燃焼でその幕を閉じました。

農業青年交換大会の開催!

9月21日、志布志で鹿児島県農業青年交換大会が開催され、県内の農業青年約140人によるバレーボールの熱戦が繰り広げられました。普段はそれぞれの持ち場で地域農業を支える若者たちが、仕事の後に練習を重ね、大会に臨みました。全てのチームが奮闘した結果、上位3チームが開催地である地元の2チームが入るといふ優秀な成績を収めました。志布志の青年クラブ会長の堀口俊さんは「地元開催で大会が盛り上がり、良い成績を取ることができて良かった」と嬉しそうに話してくれました。農業青年クラブでは一緒に活動する仲間を随時募集しています。



県内の農業に携わる若者が交流を深めました



同窓生の絆が深まった1日でした

母校に外部壁掛時計を!

8月10日、ポルベルアダグリで山中中学校卒業生選同窓会が開催され、昭和44年に同校を卒業した同窓生から、母校である松山中学校に外部壁掛時計が寄贈されました。同窓会には全国から96人の同窓生と、1人の恩師が参加し、懐かしい話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしました。5年ごとに開催される同窓会ですが、今回は記念すべき選同窓会ということで記念品として時計を寄贈。会の開始前に、参加者と村中修三発起人代表が同校を訪れ、時間ときまりを守る学校運営に役立てて欲しいと目録を贈りました。